

令和6年度の移住者数が過去最多となりました！ (移住者数：**2,879**人、移住相談件数：**5,270**件)

移住者(世帯)数は、市町で転入手続きの際に実施している任意のアンケートなどの結果を各市町からの報告に基づき集計したものです。なお、集計に当たっては進学や転勤等による一時的な転入を除いています。

移住相談件数は、市町からの報告、県の東京・大阪事務所や移住コーディネーター※等の相談対応件数を集計したものです。

※移住コーディネーターは、県が高松や東京に配置し、移住等に関する相談対応を行っています。

1 移住者数等 ～移住者数、移住世帯数、移住相談件数が増加～

移住者数は2,879人、移住世帯数は1,890世帯、移住相談件数は5,270件となり、**移住者数は過去最多、移住世帯数及び移住相談件数は過去2番目に多い件数となっている。**

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	対前年度
移住者数(人)	753	1,067	1,188	1,375	1,697	1,970	2,721	2,780	2,499	2,765	2,879	114 増
移住世帯数(世帯)	510	729	808	971	1,197	1,410	1,848	1,921	1,752	1,812	1,890	78 増
移住相談件数(件)	833	1,522	2,145	3,282	4,178	5,717	4,489	4,540	5,032	5,149	5,270	121 増

2 移住前の住所地 ～近畿・関東・四国地方からの移住者が多い傾向～

移住前の住所地は、近畿地方が723人と最も多く、次いで、関東地方の619人、四国地方の520人などとなっている。

移住前住所地	移住者数	構成比	対前年度
北海道・東北地方	87人	3.0%	31人増
関東地方	619人	21.5%	16人増
中部地方	186人	6.5%	8人増
近畿地方	723人	25.1%	65人増
中国地方	296人	10.3%	102人減
四国地方	520人	18.0%	1人減
九州・沖縄地方	146人	5.1%	2人増
海外・不明	302人	10.5%	95人増
計	2,879人	100.0%	114人増

3 年齢構成 ～若者・子育て世代が多い傾向～

年齢層別では、20歳代が875人と最も多く、30歳代(522人)が続く。この年齢層で全移住者の過半数近くを占めており、若者・子育て世代が多い傾向にある。

年齢層	移住者数	構成比	対前年度
20歳未満	393人	13.7%	48人増
20歳代	875人	30.4%	3人減
30歳代	522人	18.1%	11人増
40歳代	327人	11.4%	14人増
50歳代	352人	12.2%	33人増
60歳以上	329人	11.4%	26人減
年齢不明	81人	2.8%	37人増
計	2,879人	100.0%	114人増

4 市町別内訳

	令和6年度			令和5年度		
	移住者数	移住世帯数	移住相談件数	移住者数	移住世帯数	移住相談件数
香川県	－	－	2,474	－	－	2,229
高松市	736	523	362	679	479	658
丸亀市	138	96	78	188	111	50
坂出市	110	55	66	126	67	43
善通寺市	59	47	73	52	38	27
観音寺市	73	50	126	108	71	141
さぬき市	148	73	240	148	82	203
東かがわ市	262	154	50	133	89	48
三豊市	186	92	62	183	92	39
土庄町	206	150	772	192	119	650
小豆島町	167	88	568	179	89	747
三木町	133	71	120	92	60	56
直島町	102	85	61	114	103	71
宇多津町	84	49	39	111	77	32
綾川町	78	38	42	83	55	37
琴平町	110	107	39	51	49	32
多度津町	126	81	54	164	91	27
まんのう町	161	131	44	162	140	59
計	2,879	1,890	5,270	2,765	1,812	5,149

※移住者数及び移住世帯数については、各市町において任意のアンケートなどにより把握したものです。